

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者：臼井

会議名： 令和元年度 第3回守山学区まるごと活性化プラン A プロジェクト会議

日時：令和元年9月1日(日)午前 10 時から

場所：守山会館2階 図書室

出席者：井上代表、中島、五次、竹村 (市社協)小島 (民生委員)三上

(市)健康福祉政策課 北脇、貝増 守山会館 川上、臼井

議題

1. 自治会の課題解決に向けた検討(民生委員)
2. わがまちミーティングについて

会議要旨

内容

1. 自治会の課題解決に向けた検討(民生委員)

民生委員の制度の趣旨、法的根拠、活動内容等について、市健康福祉政策課より説明の後、意見交換

【意見等】

(PJ 委員より)

- ・ 仕事が多い。これでは自治会長から頼みにくい。
→(健福課)人数を増やして一人当たりの負担を減らす工夫をしている自治会もある。
- ・ 妻が委員をやっていて話を聞いていた。会議が多く、担当地域によっては訪問が大変なこともあるようだが、色々な人と知り合えて良かったとも言っていた。

(井上代表)

- ・ 委員を推薦する負担が自治会長一人にかかってしまっている。例えば推薦の単位を学区にし、学校や社協のOBの情報を集めて推薦会をするなどできないか。
- ・ やりがいはあるだろうが、それだけではなり手はいない。特に現役世代は難しい。
- ・ 昔の農村社会の制度が今も続いていて、時代にそぐわなくなっている。
- ・ 今後も大事な民生委員活動を維持していくために、頭をひねっていい方法を見つけたい。

(民生委員：三上氏より)

- ・ これまで委員をしていて負担に感じたことはなく、むしろ楽しくさせてもらっている。
- ・ 自治会長の頭から「民生委員は大変」というイメージをなくしてほしい。一部の人の思うイメージが先行してしまっていると思う。
- ・ 退任する人が後任の候補を探してから辞めるようにすると、自治会長の負担が減る。
- ・ 固定された仕事としては、月1回の民児協定例会と3回程度の部会、毎月の活動記録の記入、校園あいさつ運動で、あとは自分の都合に合わせて訪問活動を行う。以上が民生委員の本来業務で、これらに加えて自治会活動への参加があるが、それが負担になっている。

(井上代表)

- ・ 頼みに行った相手から「民生委員は忙しいから無理」と言われてしまう。そうでないことを、市民に広く知らせる方法も考える必要がある。

- ・自治会活動への民生委員の参加が当たり前になっているが、改めて各自治会で行事の見直しも考える必要がある。

(市社協：小島課長)

- ・自治会のサロン等へ参加すると、地域の問題を未然に防ぐことに繋がる等、民生委員活動の質をより高めることができるが、参加は必須ではない。
- ・民生委員の負担軽減には、自治会での担い手を増やしていくが必要になる。
- ・民児協の部会について、近隣市で毎月開催しているところはなく、年に4～5回程度であるので、活動の見直しについて役員会で検討している。

(井上代表)

- ・一番心配しているのは、担い手がどんどん減って、土台から崩れてしまうこと。
- ・まずは、本来業務以外の自治会での業務がどれほどなのかもっと具体的に掴み、自治会長会等でも相談するなどして、自治会の活動内容を見直すことへつなげていきたい。
- ・自治会長と民生委員が話できる場も必要。民生委員が負担に思っている部分があるなら、役割分担の見直しを考えていかなければならない。

(健康福祉政策課)

- ・いち担当者としての思いだが、まず、民生委員の本来業務と自治会活動とを切り離し、候補者には、本来業務を受けてくれるかどうかを考えてもらうという形にすべきではないか。また、推薦方法について、例えば3年に1回の改選の年に、元教師・行政職員等や自治会長を集めた推薦会を学区ごとに開き、情報を収集・共有し、適任者を探すというやり方も考える。

(PJ 委員)

- ・自治会の中に福祉部門を置いているところは多いので、その方々で運営できるのであれば、サロンや敬老会への民生委員の参加は必須ではない。
- ・民生委員の推薦について、夜も寝られないほど非常に大きな負担になっている。

(井上代表)

- ・市や市社協は、「今まで通り自治会長に頼んでおけば推薦されてくる」という状況ではないということを理解していただきたい。
- ・何とか今年度中に何らかの対策を考えたい。

(健康福祉政策課)

- ・学区単位で選出する場合、民生委員の活動範囲が自分の自治会外まで広がってしまう。それは実際難しいと思う。そのため、まずは自治会を一つの単位として推薦いただいている。
- ・制度自体の改善については、国や県に要望している。
- ・ある民生委員さんは、月の活動回数が、学区関連：3、自治会関連：12、民生委員：4となっているとのこと。
- ・「民生委員の仕事はいいけど、自治会役員にさせられるのが嫌」という声は当課でも伺ったことはある。

(民生委員：三上氏)

- ・民生委員になったら、「自治会のいろいろな役に当たり、さまざまな仕事の責任を負わされるので大変」と思い込まれているのではないかと。

- ・民生委員の仕事を、まずは本来業務のみに一旦絞って、余力があれば自治会活動等へ参加するといった形で、民児協の会長とも相談しながら見直していったらどうか。

2. わがまちミーティング

●テーマの事務局案を提示

【意見等】

- ・地域の現状を知ってもらう（政治・経済・防災・様々な課題がある）
 - そしてそんな現状の今、未来（がどうあるべきか）について考えてもらう
 - その未来に向け、今の地域をどうするのか、どうネットワークを作るのかを考えてもらう（手段の一つとして自治会が必要になってくる）
- このようなテーマで話し合いたい。これらのことを共有できれば、自ずと皆が動き出すと思う。
- ・まずは来てもらわなければ何も始まらないので、人が集まるテーマを考えるべき。

決定事項	・民生委員については検討を継続。 ・次回会議 10月26日（土）午前10時から
次回以降について	・次回は健康推進委員と福祉協力員について、今回同様に市等の関係機関に出席してもらって協議する。 ・わがまちミーティングのテーマは次回再協議する。